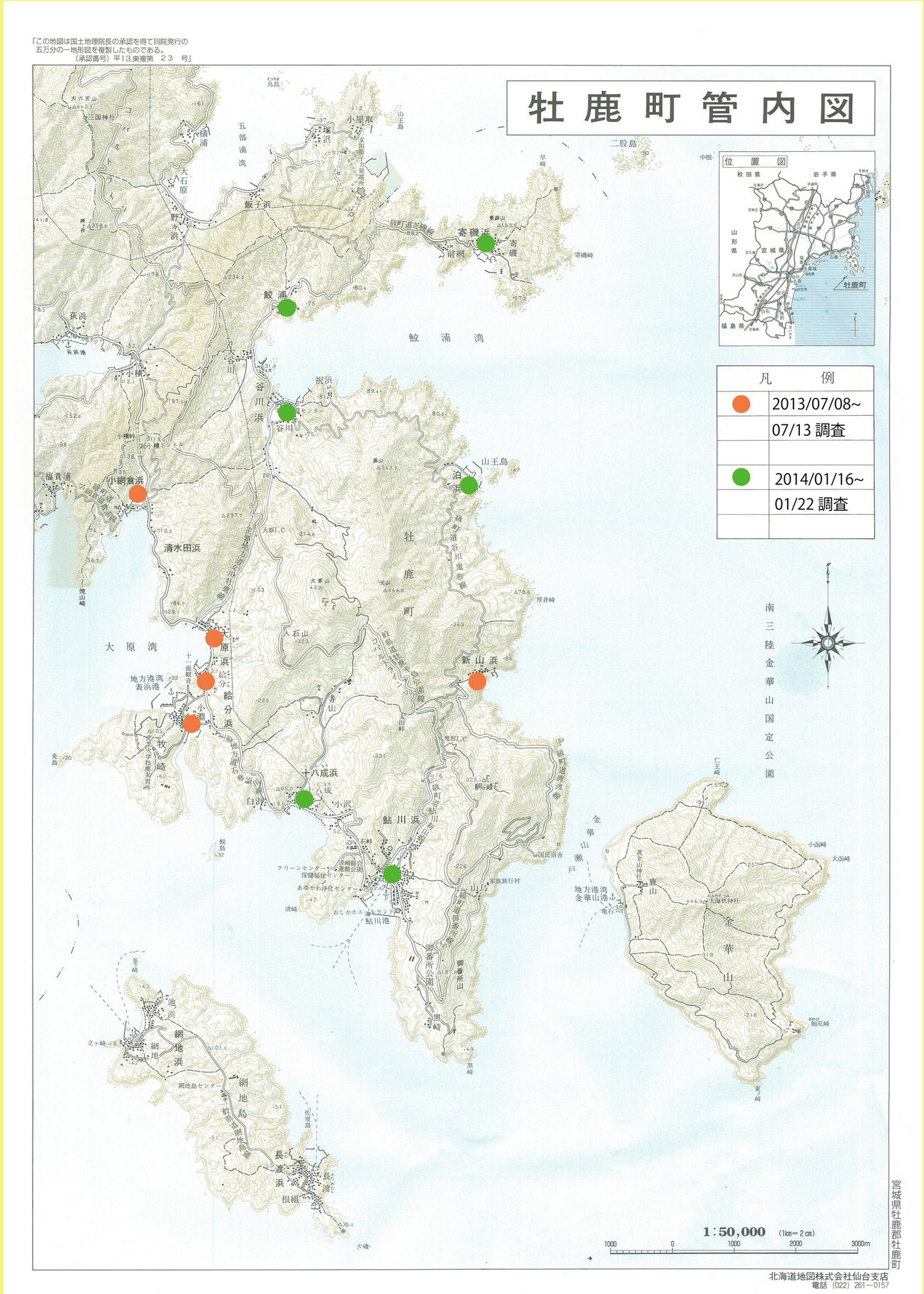
平成25年度社会貢献プロジェクト

東日本大震災津波被災地域における民俗資料・文化財の調査及び保存活動

代表　古家信平（人文社会系・教授）

分担者：徳丸亞木（人文社会系・教授）、中込睦子（人文社会系・准教授）、中野泰（人文社会系・准教授）
戸邉優美（人文社会科学研究科・院生）、尾曲香織（人文社会科学研究科・院生）



宮城県東部に位置する牡鹿半島は、平成23（2011）年の東日本大震災以降、集落の在り様が大きく変化した。石巻市牡鹿地区において、民俗資料・文化財の調査を通してかつての集落の姿を記録し、住民と共に保存の在り方を検討した。

【調査方法】

①寺社及び石仏
　石塔の調査
②集落の道具調査
③聞き取り調査、
　参与観察

↑大掛軸の調査〔大原浜／H25.7.9〕
毎年2月の御神木祭りで用いられる曼荼羅図。経年劣化に加え、浸水により傷みが激しい。

【調査成果】

①現状把握と地域性（例：山神塔）

地震により倒れた山神塔 →
〔十八成浜／H26.1.21〕

↓山神塔調査（一部抜粋）

	石塔の刻印			震災の影響
	石塔名	年月日	寄進者名	
小網倉浜（清水田浜含）	山神塔			山にあったが地震で落下したため、神明社脇に他の石塔と共にまとめられた。
大原浜	山神塔	享和3（1803）年	女連中	未確認（参道倒壊のため）
十八成浜	山神塔	文化2（1805）年	*若女中*	横倒しになっている
鮎川浜（北・南）	山神	享和2・3年	女講中	崖上にあった古碑群がまとめて落下。道路わきにまとめられた。
新山浜	山神塔	享和2（1802）年		影響なし
谷川浜（大谷川）	山神	享和2（1802）年		横倒しになっており、上部が欠けている。

②集落における共有（例：祭祀具・共有膳椀）

泊浜の祭祀具・共有膳椀の保管状況（一部抜粋）→
集落ごとに共有されている道具・文書は、
調査カードに記録し、右のように一覧化した。

資料番号	資料名	数量	法量	調査年月日	調査者	収集場所	備考
1	半纏	14		2014年1月19日	戸邉	泊浜老人憩の家 喜楽園	女講中の講員が花嫁の出迎え時などに着用。現在は運動会で小学生が借りて着用。
2	膳(女講中用)	20	254×254×45	2014年1月19日	尾曲	泊浜老人憩の家 喜楽園	女講中が揃えた膳。実業団のものよりも小さい。
3	膳(実業団用)		392×392×62	2014年1月19日	尾曲	泊浜老人憩の家 喜楽園	実業団が揃えた膳。数が多く、確認できなかった棚にも保管されている模様。
4	飯櫃を入れる箱	1	蓋：356×49 本体：330×210	2014年1月19日	戸邉	泊浜老人憩の家 喜楽園	木製。飯櫃が二つ入っている。蓋の裏に「泊濱實業團　御飯櫃　昭和六年十月吉日」とある。
5	飯櫃	2	280×130 255×110	2014年1月19日	戸邉	泊浜老人憩の家 喜楽園	木製。漆塗。
6	仮装用衣装その他			2014年1月19日	尾曲	泊浜老人憩の家 喜楽園	お多福の面、もんぺ、扇子、花笠などの衣装。女講中で使用したとのこと。兵児帯には「泊　地蔵講社　昭和四十五年度」とある。
7	獅子頭	1		2014年1月19日	尾曲	泊浜老人憩の家 喜楽園	獅子頭の入った箱のふたの裏には「大正参年壱月造之　泊濱青年会　御獅子頭　平塚忠蔵　松川長助　平塚升松　仝円助　仝惣治　阿部栄太郎」とある。
8	燭台	1		2014年1月19日	尾曲	泊浜老人憩の家 喜楽園	地蔵講の際に使ったとされる燭台。

③住民の記憶と思い

集落によって抱える問題は異なる。
今後も住民と共に以下の活動に取り組んでいく。
・大原浜の大掛軸の修復・保存
・泊浜の庚申講及び女講中の資料整理
・小網倉・寄磯浜における女性の講行事の振興